

# 第6章 脳血管疾患・心血管疾患におけるロジックモデル

## 1. 脳血管疾患ロジックモデル

C) 初期アウトカム指標				B) 中間アウトカム指標				A) 最終アウトカム指標								
<b>1 基礎疾患及び危険因子の知識の普及ができています</b>				<b>【予防】</b>				<b>1 脳血管疾患の発生が減少している</b>								
C101	喫煙率（男）	24.5%	18.0%	28.8%	B101	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	220.2	-	240.3	A101	脳血管疾患受療率（入院）	114.0	-	115.0		
	喫煙率（女）	6.9%	2.8%	8.8%	B102	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	64.9	-	64.6		脳血管疾患受療率（外来）	59.0	-	68.0		
C102	禁煙外来を行っている医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	12.9	増加	12.3	B103	糖尿病患者の年齢調整外来受療率	67.0	-	95.2							
C103	禁煙支援協力薬局数 <small>※人口10万人対換算</small>	7.9	増加	-												
C104	ニコチン依存管理料を算定する患者数 <small>※人口10万人対換算</small>	355.3	増加	369.1												
C105	塩分摂取量（一日平均摂取量）（男）	10.6	8.0	10.7												
	塩分摂取量（一日平均摂取量）（女）	9.2	-	9.1												
C106	ハイリスク飲酒者の割合（男）	10.5%	9.5%	15.0%												
	ハイリスク飲酒者の割合（女）	6.8%	4.9%	8.7%												
C107	一日の歩数（男）	8,631	9,000	7,864												
	一日の歩数（女）	6,787	8,500	6,685												
<b>2 健康診断・健康診査・保健指導を受診できている</b>				<b>【救護】</b>				<b>2 脳血管疾患による死亡が減少している</b>								
C201	健診受診率（男）	73.2%	増加	77.2%	<b>2 脳血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着できる</b>											
	健診受診率（女）	67.5%	増加	69.7%	B201	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	40.7	減少	40.6							
C202	特定健診受診率	48.8%	70.0%	55.6%	B202	脳血管疾患により救急搬送された患者数（医療機関での診断数） <small>※人口10万人対換算</small>	3.6	-	-							
C203	特定保健指導実施率	23.1%	45.0%	23.2%	B203	意識障害疑い（脳卒中含む）に係る平均搬送時間（救急隊による判断数）	47.4	減少	-							
				B204	意識障害疑い（脳卒中含む）に係る平均照会時間（救急隊による判断数）	10.1	減少	-								
				B205	脳卒中疑いに対する1回目での救急応需率（初診時の医師の判断数）	77.8%	増加	-								
<b>3 救急救命士を含む救急隊員が、活動プロトコールに則し、適切な観察・判断・処置が実施できている</b>				<b>【急性期】</b>				<b>3 脳血管疾患患者の入院期間が改善し、在宅等の日常生活の場で質の高い生活を送ることができている</b>								
C301	救急隊の救急救命士運用率	100.0%	現状維持	99.5%	<b>3 発症後早期に専門的な治療を受けることができる</b>											
C302	傷病者の観察及び搬送先選定シートの意識障害・脳卒中に分類されて搬送された件数	2,660	-	-	B301	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	17.4	増加	12.1							
<b>4 急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる体制が整っている</b>								B302	くも膜下出血に対する脳動脈瘤コイル塞栓術の実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	7.3	増加	10.3				
C401	脳血管疾患により救急搬送された患者の圏域外への搬送率	41.6	-	-	B303	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	15.4	増加	8.1							
								B304	脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	5.9	増加	7.0				
<b>5 脳疾患の急性期医療に対応できる体制が整っている</b>				<b>【回復期】</b>												
C501	脳神経内科医師数 <small>※人口10万人対換算</small>	5.1	増加	4.1	<b>4 合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる</b>											
C502	脳神経外科医師数 <small>※人口10万人対換算</small>	6.2	増加	5.9	B401	入院支援の実施件数 算定回数（入退支1） <small>※人口10万人対換算</small>	1,574.0	増加	1,789.4							
C503	脳卒中等領域の診療を行う病院数 <small>※人口10万人対換算</small>	3.0	増加	-		入院支援の実施件数 算定回数（入退支2） <small>※人口10万人対換算</small>	271.1	増加	338.2							
C504	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解法の実施可能な病院数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.9	増加	0.8	B402	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数（回復期）（SCR）	74.1	増加	100.0							
C505	経皮的選択的脳血栓、塞栓溶解術（脳梗塞に対する血栓回収術）が実施可能な病院数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.6	増加	-	B403	入院脳血管疾患等リハビリテーションの実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	131,809.6	増加	123,593.0							
<b>6 専門医療スタッフにより集中的なリハビリテーションが実施可能な医療機関が整備されている</b>				<b>【維持期・生活期】</b>				<b>5 日常生活の場で再発予防でき、心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる</b>								
C601	回復期リハビリテーション病床数 <small>※人口10万人対換算</small>	90.7	増加	66.0	<b>5 日常生活の場で再発予防でき、心身の緩和ケアを受けることができる</b>											
C602	地域包括ケア病棟を有する病院数	32	増加	-	B501	外来脳血管疾患等リハビリテーションの実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	14,052.9	増加	10,500.3							
C603	理学療法士数 <small>※人口10万人対換算</small>	68.7	増加	61.7	B502	歯科医師連携加算（栄養サポートチーム加算）レセプト数（病院）	357	増加	-							
	作業療法士数 <small>※人口10万人対換算</small>	32.2	増加	35.5	B503	訪問診療の実施件数 <small>※人口10万人対換算</small>	13,875.5	増加	13,775.9							
	言語聴覚士数 <small>※人口10万人対換算</small>	14.0	増加	12.4	B504	訪問看護利用者数（医療） <small>※人口10万人対換算</small>	542.0	増加	392.1							
C604	診療放射線技師数 <small>※人口10万人対換算</small>	38.2	増加	35.2	B505	訪問看護利用者数（介護） <small>※人口10万人対換算</small>	5,284.7	増加	4,788.6							
C605	臨床工学技士数 <small>※人口10万人対換算</small>	18.9	増加	16.7												
C606	クリティカルケア認定看護師数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.5	増加	0.6												
C607	脳卒中リハビリテーション認定看護師数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.6	増加	0.6												
C608	摂食嚥下療法を実施している医療機関数	46	増加	-												
<b>7 医療機関間での連携が構築されている</b>																
C701	脳卒中地域連携パスを運用している医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	3.1	増加	9.4												
<b>8 生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション、支援が提供される体制が整備されている</b>																
C801	訪問診療を実施している診療所数 <small>※人口10万人対換算</small>	25.5	増加	-												
	訪問診療を実施している病院数 <small>※人口10万人対換算</small>	1.3	増加	-												
C802	訪問看護ステーションに従事する看護職員数（常勤換算数） <small>※人口10万人対換算</small>	46.0	増加	52.3												
<b>9 心身の緩和ケアが受けられる体制が整っている</b>																
C901	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組み脳神経（内・外）科を標榜している病院数（「適切な意思決定支援に関する指針」を定めている病院）	27	増加	-												

\*: 全疾患（脳血管疾患に限らない）

## 2. 心血管疾患ロジックモデル

番号 C) 初期アウトカム指標

番号	項目	奈良県	目標	全国
1	基礎疾患及び危険因子の知識の普及ができています			
C101	喫煙率（男）	24.5%	18.0%	28.8%*
	喫煙率（女）	6.9%	2.8%	8.8%*
C102	禁煙外来を行っている医療機関数	12.9	増加	12.3
C103	禁煙支援協力薬局数 <small>※人口10万人対換算</small>	7.9	増加	-
C104	ニコチン依存管理料を算定する患者数 <small>※人口10万人対換算</small>	355.3	増加	369.1
C105	塩分摂取量（一日平均摂取量）（男）	10.6	8.0	10.7
	塩分摂取量（一日平均摂取量）（女）	9.2		9.1
C106	ハイリスク飲酒者の割合（男）	10.5%	9.5%	15.0%*
	ハイリスク飲酒者の割合（女）	6.8%	4.9%	8.7%*
C107	一日の歩数（男）	8,631	9,000	7,864
	一日の歩数（女）	6,787	8,500	6,685
2	健康診断・健康診査・保健指導を受診できている			
C201	健診受診率（男）	73.2%	増加	77.2%*
	健診受診率（女）	67.5%	増加	69.7%*
C202	特定健診受診率	48.8%	70.0%	55.6%*
C203	特定保健指導実施率	23.1%	45.0%	23.2%*

番号	項目	奈良県	目標	全国
3	心肺停止が疑われる者に対してAEDの使用を含めた救急蘇生法等の適切な処置を実施することができる			
C301	心肺機能停止傷病者（心肺停止患者）全搬送人数のうち、一般市民により除細動が実施された件数 <small>※人口10万人対換算</small>	1.2	増加	1.4
C302	心原性心肺機能停止傷病者に対する一般市民の応急手当実施率	16.0%	増加	11.9%

番号	項目	奈良県	目標	全国
4	救急救命士を含む救急隊員が、活動プロトコールに則し、適切な観察・判断・処置が実施できている			
C401	救急隊の救急救命士運用率	100.0%	現状維持	99.5%*
C402	傷病者の観察及び搬送先選定シートの急性冠症候群（ACS）に分類されて搬送された件数	1,330	-	-
5	急性期医療を担う医療機関へ速やかに搬送できる			
C501	虚血性心疾患により救急搬送された圏域外への搬送率	28.8	-	-

番号	項目	奈良県	目標	全国
6	心血管疾患の急性期医療に対応できる体制が整っている			
C601	循環器内科医師数 <small>※人口10万人対換算</small>	9.1	増加	10.0
C602	心臓血管外科医師数 <small>※人口10万人対換算</small>	2.7	増加	2.5
C603	特定集中治療室管理料（ICU・CCU等）を届けている病院数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.4	増加	-
	特定集中治療室管理料（ICU・CCU等）を届けている病院の病床数 <small>※人口10万人対換算</small>	4.9	増加	-
C604	心臓血管外科手術が実施可能な医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.5	-	-
C605	冠動脈バイパス術が実施可能な医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.5	-	0.5
C606	経皮的冠動脈形成術・経皮的冠動脈ステント留置術が実施可能な医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	2.0	-	1.1
C607	大動脈瘤手術が可能な医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	1.2	-	1.1
C608	24時間心血管疾患の急性期医療が実施可能な医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.5	-	0.6

番号	項目	奈良県	目標	全国
7	専門医療スタッフにより集中的なリハビリテーションが実施できる体制が整っている			
C701	心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	1.0	増加	1.2
C702	理学療法士数 <small>※人口10万人対換算</small>	68.7	増加	61.7
	作業療法士数 <small>※人口10万人対換算</small>	32.2	増加	35.5
	言語聴覚士数 <small>※人口10万人対換算</small>	14.0	増加	12.4
C703	診療放射線技師数 <small>※人口10万人対換算</small>	38.2	増加	35.2
C704	臨床工学技士数 <small>※人口10万人対換算</small>	18.9	増加	16.7
C705	クリティカルケア認定看護師数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.5	増加	0.6
C706	慢性心不全看護認定看護師数 <small>※人口10万人対換算</small>	0.2	増加	0.4

番号	項目	奈良県	目標	全国
8	医療機関間での連携が構築されている			
C801	循環器内科及び心臓血管外科を標榜する医療機関で地域連携室等を整備している医療機関数 <small>※人口10万人対換算</small>	2.3	増加	2.4

番号	項目	奈良県	目標	全国
9	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション、療養支援体制が整っている			
C901	訪問診療を実施している診療所数 <small>※人口10万人対換算</small>	25.5	増加	-
	訪問診療を実施している病院数 <small>※人口10万人対換算</small>	2.1	増加	-
C902	訪問看護ステーションに従事する看護職員数（常勤換算数） <small>※人口10万人対換算</small>	46.0	増加	52.3

番号	項目	奈良県	目標	全国
10	心身の緩和ケアが受けられる体制が整っている			
C001	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に取り組む循環器（内）科を標榜している病院数（「適切な意思決定支援に関する指針」を定めている病院）	26	増加	-

番号 B) 中間アウトカム指標

番号	項目	奈良県	目標	全国
【予防】				
1	心血管疾患の危険因子の管理や発症を予防できている			
B101	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	220.2	-	240.3
B102	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	64.9	-	64.6
B103	糖尿病患者の年齢調整外来受療率	67.0	-	95.2

番号	項目	奈良県	目標	全国
【救護】				
2	心筋梗塞等の心血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着できる			
B201	救急要請（覚知）から医療機関への収容までに要した平均時間	40.7	減少	40.6
B202	心肺機能停止の1か月後の生存率（一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者10か年分）	10.8%	増加	12.7%
B203	心肺機能停止の1か月後の社会復帰率（一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者10か年分）	6.7%	増加	8.2%
B204	胸痛疑いに係る平均搬送時間（救急隊による判断数）	44.0	減少	-
B205	胸痛疑いに係る平均照会時間（救急隊による判断数）	8.0	減少	-
B206	心疾患疑いに対する1回目での救急応需率（初診時の医師の判断数）	82.5%	増加	-

番号	項目	奈良県	目標	全国
【急性期】				
3	発症後早期に専門的な治療を受けることができる			
B301	来院後90分以内での冠動脈再開通達成率（%）	14.6%	増加	13.9%
B302	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	59.2	増加	50.4
B303	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数 <small>※人口10万人対換算</small>	14.5	増加	13.0
B304	心疾患（高血圧性のものを除く）の退院患者平均在院日数	22.0	減少	19.3
B305	急性心筋梗塞患者の入院中死亡率	5.9%	減少	8.70%
B306	心不全患者の入院中死亡率	10.1%	減少	7.9%
B307	急性大動脈解離患者の入院中死亡率	22.2%	減少	12.9%

番号	項目	奈良県	目標	全国
【回復期】				
4	合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる			
B401	入院支援の実施件数 算定回数（入退支1） <small>※人口10万人対換算</small>	1,574.0	増加	1,789.4
	入院支援の実施件数 算定回数（入退支2） <small>※人口10万人対換算</small>	271.1	増加	338.2
B402	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	11.7	増加	67.8
B403	入院心血管疾患等リハビリテーションの実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	4,391.0	増加	5,507.1

番号	項目	奈良県	目標	全国
【慢性期・再発予防】				
5	日常生活の場で再発予防でき、心血管疾患リハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができ、合併症発症時には適切な対応を受けることができる			
B501	外来心血管疾患等リハビリテーションの実施件数（算定回数） <small>※人口10万人対換算</small>	2,645.9	増加	1,723.4
B502	訪問診療の実施件数 <small>※人口10万人対換算</small>	13,875.5	増加	13,775.9
B503	訪問看護利用者数（医療） <small>※人口10万人対換算</small>	542.0	増加	392.1
B504	訪問看護利用者数（介護） <small>※人口10万人対換算</small>	5,284.7	増加	4,788.6

番号 A) 最終アウトカム指標

番号	項目	奈良県	目標	全国
1	心血管疾患の発生が減少している			
A101	心疾患（高血圧性のものを除く）受療率（入院）	50.0%	-	50.0%
	心疾患（高血圧性のものを除く）受療率（外来）	105.0%	-	106.0%

番号	項目	奈良県	目標	全国
2	心血管疾患による死亡が減少している			
A201	心疾患（急性心筋梗塞含む）の年齢調整死亡率（男）	73.5	66.2	65.4
	心疾患（急性心筋梗塞含む）の年齢調整死亡率（女）	39.1	35.2	34.2
	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（男）	10.5	減少	16.2
	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率（女）	4.1	減少	6.1
	大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率（男）	5.5	減少	6.4
	大動脈瘤及び解離の年齢調整死亡率（女）	2.7	減少	3.3
A202	心疾患（高血圧性のものを除く）標準化死亡比（男）	107.8	減少	100.0
	心疾患（高血圧性のものを除く）標準化死亡比（女）	116.7	減少	100.0

番号	項目	奈良県	目標	全国
3	心血管疾患患者の入院期間が改善し、在宅等の日常生活の場で質の高い生活を送ることができている			
A301	虚血性心疾患の退院患者平均在院日数	10.5	減少	8.6
A302	在宅等生活の場に復帰した虚血性心疾患患者の割合	96.7%	増加	94.2%
A303	健康寿命（男）	19.01年	延伸	18.43年*
	健康寿命（女）	21.52年	延伸	21.52年*
A304	心血管疾患患者が退院後30日以内に再入院する率	-	-	7.5%

\*：全疾患（心血管疾患に限らない）